

21 ('15 九州大)

【難易度】 … 標準

以下の問いに答えよ .

- (1) n が正の偶数のとき , $2^n - 1$ は 3 の倍数であることを示せ .
- (2) n を自然数とする . $2^n + 1$ と $2^n - 1$ は互いに素であることを示せ .
- (3) p, q を異なる素数とする . $2^{p-1} - 1 = pq^2$ を満たす p, q の組をすべて求めよ .

【テーマ】: 整数問題

方針

(1) は , 二項定理や合同式を用いて証明をします . (2) は , 最大公約数を g として式を作ります . (3) は , (1) から p, q は奇数の素数であることがわかるので , これを利用して p, q の値を求めます .

解答

(1) 【証明】

 n は偶数なので , $n = 2k$ (k は自然数) とおける . よって , 二項定理を用いると ,

$$\begin{aligned} 2^n - 1 &= 2^{2k} - 1 \\ &= 4^k - 1 \\ &= (3 + 1)^k - 1 \\ &= {}_k C_0 \cdot 3^k + {}_k C_1 \cdot 3^{k-1} + \cdots + {}_k C_{k-1} \cdot 3 + {}_k C_k - 1 \\ &= 3({}_k C_0 \cdot 3^{k-1} + {}_k C_1 \cdot 3^{k-2} + \cdots + {}_k C_{k-1}) \end{aligned}$$

 ${}_k C_0 \cdot 3^{k-1} + {}_k C_1 \cdot 3^{k-2} + \cdots + {}_k C_{k-1}$ は自然数であるから , $2^n - 1$ は 3 の倍数である .

ゆえに , 示された .

(証明終)

(2) 【証明】

 $2^n + 1, 2^n - 1$ の最大公約数を g とすると ,

$$\begin{cases} 2^n + 1 = ga' & \cdots \cdots \text{①} \\ 2^n - 1 = gb' & \cdots \cdots \text{②} \end{cases} \quad (a', b' \text{ は互いに素})$$

とおくことができる . ① - ② より ,

$$2 = g(a' - b')$$

となる . このとき , $(g, a' - b') = (1, 2), (2, 1)$ であるが , $2^n + 1, 2^n - 1$ はともに奇数であるから , $g = 2$ は不適 . したがって , $g = 1, a' - b' = 2$ である . よって , $2^n + 1, 2^n - 1$ は互いに素であることが示された .

(証明終)

(3) $2^{p-1} - 1 = pq^2 \cdots \cdots \text{①}$

$p - 1 \geq 1$ であるから , $2^{p-1} - 1$ は奇数であるから , p, q は 3 以上の素数である . よって , $p - 1$ は正の偶数となるので , (1) の結果から , $2^{p-1} - 1$ は 3 の倍数である . ゆえに , pq^2 が 3 の倍数となるので , p または q のいずれかが 3 である .

(i) $p = 3$ のとき, ① は $2^2 - 1 = 3q^2$ となるので, $q^2 = 1$ となるので不適.

(ii) $q = 3$ のとき, $p = 2m + 1$ (m は自然数) とすると, ① は,

$$2^{2m} - 1 = 9(2m + 1) \iff (2^m + 1)(2^m - 1) = 9(2m + 1)$$

である. (2) より, $2^m + 1$, $2^m - 1$ は互いに素であるから,

$$(2^m + 1, 2^m - 1) = (9, 2m + 1), (2m + 1, 9)$$

を得る. ここで, $2^m - 1 = 9$ となる自然数 m は存在しない. 一方, $2^m + 1 = 9$ のとき, $m = 3$ である.

このとき, $p = 2 \cdot 3 + 1 = 7$ であり, 題意を満たす.

ゆえに, 求める p, q の組は,

$$(p, q) = (7, 3) \cdots \cdots (\text{答})$$



解説

(1) は, 合同式を用いて示すこともできます.

別解

(1) 【証明】

n は偶数なので, $n = 2k$ (k は自然数) とおける. よって,

$$\begin{aligned} 2^n - 1 &= 2^{2k} - 1 \\ &= 4^k - 1 \\ &= (3 + 1)^k - 1 \\ &\equiv 1^k - 1 \pmod{3} \\ &= 0 \end{aligned}$$

である. ゆえに, $2^n - 1$ は 3 の倍数であることが示された.

(証明終)

(2) は, 互いに素であることを示すため, 最大公約数を設定して, それが 1 であることを示します.

(3) は, (1), (2) の結果を利用します. まずは, p, q が 3 以上の素数であることを示します. $2^{p-1} - 1 = pq^2$ は, $2^{p-1} - 1$ を素因数分解すると pq^2 となることを述べています. つまり, $2^{p-1} - 1$ が 3 の倍数であることを述べれば, p, q のいずれかが 3 であることがわかります. あとは, $p - 1$ が偶数であることから, (2) の結果を用いて p, q の値を求めます.